

平成30年度 自己評価・学校関係者評価 報告書 (No. 2)

岐阜県立飛騨古城特別支援学校

学校番号	120
------	-----

自己評価

学校教育目標	「地域で育ち、学び、共に生きる」 ・児童・生徒が、生まれ育った地域で、いろいろな人たちと共に生活をしていくために、一人一人の障がいの状況や能力に応じて、個々のもてる力を高める。
評価する領域・分野	「保護者、地域との連携」
現状及びアンケートの結果分析等	・保護者、地域との連携に関する質問項目に対していずれも肯定的な回答が80%を超えていた。保護者、地域との連携については概ね妥当と受け止めていただいているといえる。 ・ただし、中には「学校は保護者（地域）が先生にいろいろなことを相談しやすい雰囲気である。」や「学校は、自校の教育活動に関する自己評価を保護者（地域）へわかりやすく伝えている。」などの質問項目には複数の否定的な回答があったり、わからないの回答が多い質問項目もあった。このことから、一人一人に応じた対応やPRに改善の余地があるといえる。
今年度の具体的かつ明確な重点目標	・地域の教育的資源を活用した体験的な学習を実施する。 ・個別の教育支援計画に基づき、児童生徒一人一人の目標をニーズや踏まえ保護者、地域との連携を図った教育活動や授業実践を目指す。
重点目標を達成するための校内組織体制	・分掌会 ・学部会 ・企画委員会
目標の達成に必要な具体的な取組	・保護者や地域住民の参加による様々な行事や授業、教育活動の実施 ・写真展や学校便り、進路だより、HP等による理解啓発と情報発信 ・関係機関との連携
達成度の判断・判定基準あるいは指標	・取組実施状況及び実施後の反省評価 ・
取組状況・実践内容等	・高等部での企業内作業学習や小中学部での町中ふれあいジョブの実施 ・高等部校内作業実習時における保護者の参加 ・運動会や夏祭り、ひだまり祭、餅つき交流会等への参加、交流 ・運動や地域文化学習、金融等への出前授業 ・部活動での華道や茶道の指導 ・児童生徒の「躍動」をテーマにした5か所での写真展示、 ・支援会議（卒業後に向けた内容、生活支援に関わる内容、学校医や指導医など医療にかかわる内容等） ・学級通信や進路だよりの配付、飛騨古城通信の配付、近辺自治会への回覧 ・その他
評価の視点	評価
①保護者や地域の人々と連携した教育活動を展開できたか。	Ⓐ B C D
②保護者や地域の人々に教育実践を伝えられたか。	A Ⓑ C D
③児童生徒支援のために、関係機関と連携した体制を整備することができたか。	A Ⓑ C D
成果・課題	総合評価

<p>○たくさんの授業や行事、体験的な活動を保護者や地域の人々とともに行い、教育活動や児童生徒を理解していただく一助となった。また、そのことで様々な人との関わりを通じてコミュニケーション能力を高めることができた。</p> <p>○個々の児童生徒の対応や支援について、学級担任が抱え込まず、関係者が集まり相談し、連携して対応支援することができた。</p> <p>▲新聞等の報道機関や各種便り、HPにて情報発信に努めたが伝わりきらないところがあった。</p>	<p>A (B) C D</p>
<p>来年度に向けての改善方策案</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・打ち合わせを行い、ねらいを明確にしたうえで授業や行事等を行う。</li> <li>・自己評価についてはホームページにアップするだけでなく文書でも伝える。</li> </ul>

**学校関係者評価** (平成30年11月27日実施)

<p>意見・要望・評価等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・太鼓の演奏を参観した。地元の太鼓愛好家の協力を得て、一人一人が自信をもって演奏している表情が良かった。</li> <li>・学校評価について、全体的に良い結果だと思うが、これに満足することなく頑張ってもらいたい。否定的な意見に対しては、個々にもっとコミュニケーションが取れるといい。</li> </ul>
-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------